



McAfee ePolicy Orchestrator

機能強化された業界最高のセキュリティ管理ソフトウェア

McAfee ePOによるビジネスの保護

企業のセキュリティを一元管理

- オープン フレームワークにより、システム、アプリケーション、ネットワーク、データ、コンプライアンスソリューションのセキュリティ管理を統合
- 拡張性の高いプラットフォームで既存のITインフラを統合

的確な対応

- 包括的なビューで必要な情報を迅速に確認。内部か外部かを問わず、セキュリティ問題をプロアクティブに処理できます。
- 高度なクエリーとレポートを使用して有益な情報をダッシュボードに表示。脅威をすぐに検出し、迅速に対応できます。
- Rogue System Detectionでネットワーク上の未知の資産を特定し、管理

マカフィー セキュリティ管理ソリューションの基盤であるMcAfee® ePolicy Orchestrator® (McAfee ePO™)は、エンドポイント、ネットワーク、データ、コンプライアンス ソリューションを一元管理します。30,000を超える顧客で使用されているMcAfee ePOは6,000万以上のノードのセキュリティを管理しています。このソリューションにより、コンプライアンス プロセスが自動化され、セキュリティの可視性が向上します。McAfee ePOは高度なセキュリティ管理ソフトウェアで、拡張性に優れたアーキテクチャを備えています。迅速な配備が可能で、エンタープライズ システムに最適なソリューションです。

現在のIT部門にはセキュリティに対してより戦略的なアプローチが求められています。セキュリティポートフォリオを統合して複雑さを解消する必要があります。セキュリティ対策を向上させる次世代の技術に投資するだけでなく、既存のIT資産と統合してプロセスを簡素化しなければなりません。数万の顧客がMcAfee ePOを使用してセキュリティを一元管理し、劇的な成果を挙げています。

拡張可能なワークフローでセキュリティとコンプライアンス プロセスを簡素化

McAfee ePOを使用すると、エンドポイント、ネットワーク、データ、コンプライアンス ソリューションのセキュリティを一元管理できます。Intel Securityのソリューションだけでなく、サードパーティのソリューションも管理できます。McAfee ePOの柔軟で自動化された管理機能により、セキュリティの問題と脅威を迅速に検出し、対応することができます。環境で発生したセキュリティ イベントの種類と重大度に応じてアラートを送信し、処理を実行することもできます。また、セキュリティ システムとITオペレーション システム間のワークフローを自動化し、未処理の問題を迅速に対応することができます。より効果的なセキュリティ プログラム

を実施できるので、時間を節約し、コストを削減できます。McAfee ePOはセキュリティ管理のコストを削減し、複雑さを解消します。

包括的なエンドポイント検出と対応 (EDR)

McAfee ePOにMcAfee Active Responseが組み込まれました。このソリューションは高度なセキュリティ脅威を継続的に監視し、対応を行います。最先端の検出技術、詳細な分析、フォレンジック、総合的なレポート、優先順位付きのアラートとアクションにより、セキュリティ状況を常時監視できます。脅威の検出率だけでなくインシデント対応の能力も向上します。エンドポイントの検出と対応 (EDR) に関する厳密な要件に対応するため、McAfee Active Responseは事前定義のコレクターとカスタマイズ可能なコレクターを使用して、すべてのシステムで攻撃の兆候 (IoA) を調査します。実行中のプロセスに存在する痕跡だけでなく、プロセスに潜伏している脅威や削除された可能性のある脅威も検出します。McAfee Active Responseは現在のIoAだけでなく、今後発生するIoAに対してもセキュリティ目標に合わせて警告とアクションを実行します。

複雑さを解消してプロセスを簡素化

- 段階的な設定、ワークストリームの自動化、事前定義のダッシュボードにより、ソフトウェアをすぐに利用可能
- タグに基づくポリシー割り当て。ビジネスの役割またはリスク状況に基づいて、事前定義のセキュリティプロファイルを的確に割り当てることができます。
- タスク カタログと管理作業の自動化により、管理プロセスを簡素化。オーバーヘッドを抑えることができます。
- 1つのWebインターフェースで全体のセキュリティ状況を把握。1つのエージェントでエンドポイントの違反リスクを軽減できます。

企業の設備状況に合わせた拡張性

- エンタープライズクラスのアーキテクチャでは、1台のサーバーで数十万のデバイスを管理
- 異種のシステムで構成された複雑なIT環境にも対応
- オンプレミスと SaaS (Security-as-a-Service) のセキュリティ情報を提供

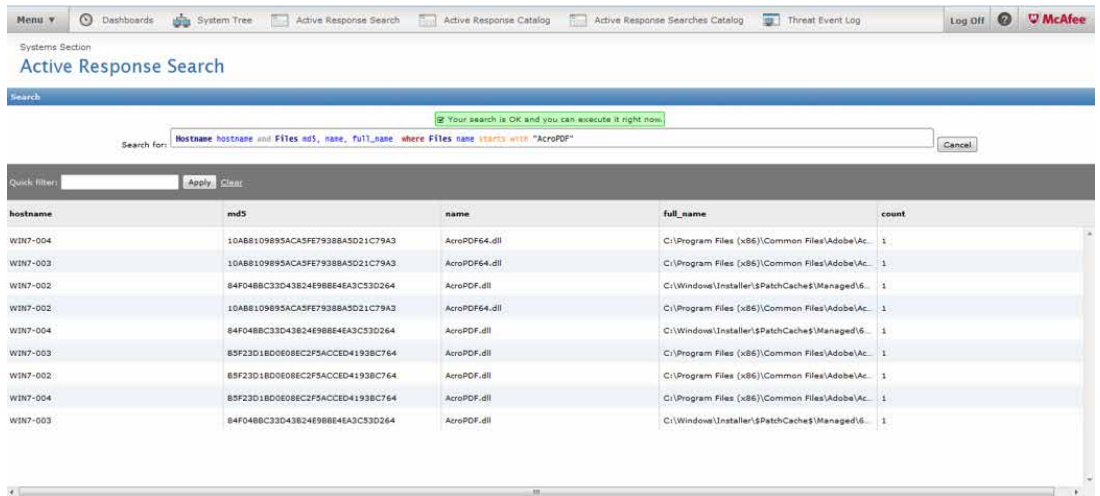


図 1. McAfee Active Responseの検索インターフェース

新機能/機能強化	利点
McAfee Active Response	包括的なエンドポイント検出と対応。攻撃の兆候を検出し、問題を修復します。
影響を受けるシステムの表示	ポリシーとタスクを変更するときに、影響を受けるシステムが強調表示されるので影響をより正確に把握できます。
製品の自動インストール	製品インストールのステータス ページが改善されました。製品ダウンロードの管理機能が強化されています。
ポリシーとタスクを柔軟に保存	削除した拡張ファイルの設定を保存し、設定の整合性を維持することができます。
高度な障害回復	McAfee ePOサーバーと設定を迅速に復旧できます。
レポート機能がネイティブ64ビットに対応	パフォーマンスが向上しています。
共通タスクとしてポリシーの比較が可能	操作性とナビゲーションが改善されています。
エンタープライズ モビリティの管理	McAfee ePOでモバイル デバイスを管理できます。
シングル ページでの配備	ワークフローが簡素化され、実装が容易になりました。
URLによるエンドポイント製品のインストール	リモートのエンドポイントに簡単にインストールできます。
HTML5 UIのサポート	Internet Explorer 8以上、Firefox、Safariを含む最新のブラウザに対応しています。

表 1. 新機能/機能強化の利点



McAfee. Part of Intel Security.

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1
 渋谷マークシティエント 20F
 TEL 03-5428-1100 (代) FAX 03-5428-1480
 西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-2-2
 近鉄堂島ビル 18F
 TEL 06-6344-1511 (代) FAX 06-6344-1517
 名古屋営業所 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4-6-17
 名古屋ビルディング 13F
 TEL 052-551-6233 (代) FAX 052-551-6236
 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲 5-3-8
 アーク博多
 福岡営業所 TEL 092-287-9674 (代)

www.intelsecurity.com

IntelおよびIntelのロゴは、米国法人Intel Corporationまたは米国またはその他の国の関係会社における登録商標です。McAfee、McAfeeのロゴ、ePolicy Orchestrator、McAfee ePOは、米国法人McAfee, Inc.または米国またはその他の国の関係会社における登録商標または商標です。その他すべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。本資料は情報提供を目的としています。ここに記載されている製品計画、仕様、説明は予告なしに変更される場合があります。本資料の内容について弊社はいかなる保証も行いません。Copyright © 2015 McAfee, Inc. 61979ds_epo_0615